

富山県医療計画<5疾病>への取り組み状況

資料 2

	主な施策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み																														
がん	<ul style="list-style-type: none"> ●たばこ対策の充実強化 ●がん検診受診率の向上 ●集学的治療(手術・放射線・化学療法の組合せ)の充実 ●認定看護師(がん分野)の教育課程の設置 ●相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●No Smoking Campus プロジェクト(大学での普及啓発) ●がん検診普及啓発マークの作成と連動した普及啓発 ●中央病院における新棟設計 ●緩和ケア分野の認定看護師教育課程開講(H26.10) ●ピアサポート活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎禁煙、受動喫煙防止に引き続き取り組む平成27年度 大学数の拡充 ◎がん検診受診促進が必要(特に、退職者や女性) ◎中央病院における新棟建設 ◎認定看護師教育課程受講者計27名 ◎拠点病院における相談の充実 																														
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> ●血栓溶解療法の実施促進 ●速やかな救急搬送要請の普及啓発 ●回復期リハビリテーション病床の増床整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●血栓溶解療法対応医療機関の診療情報の収集事業の開始(富山医療圏)(発症から来院までの時間が長い傾向) ●救急受診ハンドブックの配布など普及啓発 ●回復期リハビリテーション病床確保事業 ●病床機能分化・連携事業(地域包括ケア病床の確保) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎診療情報の収集事業の全医療圏への拡充(H27年度～) ◎回復期機能のさらなる強化 <p>回復期リハ病床数 (人口10万対) 地域包括ケア病床数 (人口10万対)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23.3</th> <th>H27.1</th> <th></th> <th>H27.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>449(40.9)</td> <td>461(43.2)</td> <td>県</td> <td>417(38.6)</td> </tr> <tr> <td>新川</td> <td>83(64.2)</td> <td>83(66.2)</td> <td>新川</td> <td>40(31.9)</td> </tr> <tr> <td>富山</td> <td>247(49.0)</td> <td>293(58.3)</td> <td>富山</td> <td>109(21.8)</td> </tr> <tr> <td>高岡</td> <td>40(12.3)</td> <td>49(15.2)</td> <td>高岡</td> <td>172(53.8)</td> </tr> <tr> <td>砺波</td> <td>79(57.2)</td> <td>36(26.8)</td> <td>砺波</td> <td>96(71.1)</td> </tr> </tbody> </table>		H23.3	H27.1		H27.1	県	449(40.9)	461(43.2)	県	417(38.6)	新川	83(64.2)	83(66.2)	新川	40(31.9)	富山	247(49.0)	293(58.3)	富山	109(21.8)	高岡	40(12.3)	49(15.2)	高岡	172(53.8)	砺波	79(57.2)	36(26.8)	砺波	96(71.1)
	H23.3	H27.1		H27.1																													
県	449(40.9)	461(43.2)	県	417(38.6)																													
新川	83(64.2)	83(66.2)	新川	40(31.9)																													
富山	247(49.0)	293(58.3)	富山	109(21.8)																													
高岡	40(12.3)	49(15.2)	高岡	172(53.8)																													
砺波	79(57.2)	36(26.8)	砺波	96(71.1)																													
急性心筋梗塞	<ul style="list-style-type: none"> ●診療データの収集・分析による治療・予後の改善 ●速やかな救急搬送要請の普及啓発 ●心臓リハビリテーションの実施促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●診療データの収集・分析による治療・予後の改善(全医療圏) ●救急受診ハンドブックの配布など普及啓発 ●心臓リハビリテーションの実施促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎来院から心血流再開までの時間の短縮>かかりつけ医から専門医への紹介体制の整備 ◎発症疑い時の速やかな救急隊要請>救急受診ハンドブックの配布など普及啓発 																														
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病予備群に対する保健指導の強化 ●かかりつけ医、専門医、保健担当者等の連携促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●特定健診・保健指導の推進 ●糖尿病重症化予防対策マニュアルに基づき連携を推進 ●連携促進のためのツールの改定・糖尿病重症化予防対策マニュアル・別冊 糖尿病診療用指針 ●医師研修(郡市医師会)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保険者による保健指導 ◎マニュアルを活用した医療機関の連携、医療と保健の連携を図り、重症化予防の推進が必要 >「糖尿病重症化予防対策マニュアル」「糖尿病診療用指針」のさらなる活用の推進 ◎医療従事者など糖尿病にかかわる者の資質向上が引き続き必要 																														
精神疾患	<ul style="list-style-type: none"> ●早期相談・早期受診・早期治療のため、一般医の診断技術の向上と精神科医との連携の推進 ●精神障害者の地域移行・地域定着支援の推進 ●医療従事者に対する認知症対応力向上研修の充実 ●認知症サポート医によるかかりつけ医への支援体制の充実 ●全ての医療圏における認知症疾患医療センターの設置促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●精神科医・一般科医うつ病連携体制整備事業 ●精神科病院における高齢長期入院患者の退院支援 ●仲間の立場から精神障害者の地域移行をサポートするピア・フレンズの養成 ●医療と福祉の連携体制整備支援、退院支援人材の養成など ●かかりつけ医認知症対応力向上研修 ●認知症サポート医養成研修及びフォローアップ研修 ●3医療圏における認知症疾患医療センター運営事業 ●高岡医療圏におけるセンター設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎県内全域(5保健所管内)においてGP連携会議を開催しているが、1地区においてマニュアルが未整備 ◎かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数(累計264人)(新規受講者の減少(H27)15人) ◎認知症サポート医養成数は順調に推移(累計35人) ◎高岡医療圏における認知症疾患医療センターの設置に向けた医療機関への働きかけを継続 																														

富山県医療計画＜5事業・在宅医療＞への取り組み状況

	主な施策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み																																												
救急	<ul style="list-style-type: none"> ●ドクターカー拡充やドクターヘリ導入の検討 ●救急医療の適正受診についての普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●富山県高度救急医療体制検討会の開催 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>搬送者数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H15</td> <td>28,249</td> <td rowspan="3">・搬送患者数の増加 ・搬送時間の長時間化</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>32,427</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>36,387</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>搬送時間</th> <th>30分以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H15</td> <td>24.8分</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>27.2分</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>29.9分</td> <td>43.9%</td> </tr> </tbody> </table> ●救急医療キャンペーン、救急受診ハンドブック・ちらしの配布等 	年	搬送者数		H15	28,249	・搬送患者数の増加 ・搬送時間の長時間化	H20	32,427	H25	36,387	年	搬送時間	30分以上	H15	24.8分	21.9%	H20	27.2分	31.8%	H25	29.9分	43.9%	<ul style="list-style-type: none"> ◎ドクターヘリ導入決定 (H27運航開始予定) ◎引き続き普及啓発活動が必要 																						
年	搬送者数																																														
H15	28,249	・搬送患者数の増加 ・搬送時間の長時間化																																													
H20	32,427																																														
H25	36,387																																														
年	搬送時間	30分以上																																													
H15	24.8分	21.9%																																													
H20	27.2分	31.8%																																													
H25	29.9分	43.9%																																													
災害	<ul style="list-style-type: none"> ●災害拠点病院の総合的機能強化(耐震化・通信確保) ●災害拠点病院以外の病院の災害マニュアルの作成促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害拠点病院の耐震化の促進 ●総合臨床教育センターにおける災害医療従事者の研修 ●災害拠点病院以外の病院の災害マニュアルの作成促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎研修会の実施回数(3回) ◎災害マニュアル策定率 50%(H24)→63%(H26) 																																												
へき地	<ul style="list-style-type: none"> ●へき地医療拠点病院におけるいわゆる「総合医」の育成 ●自治医科大学卒業医師のへき地診療所等への派遣 ●へき地医療拠点病院に対する運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●へき地医療拠点病院におけるいわゆる「総合医」の育成 ●自治医科大学卒業医師のへき地診療所等への派遣 ●へき地医療拠点病院に対する運営支援 	◎医師確保やへき地医療支援体制の継続																																												
周産期	<ul style="list-style-type: none"> ●産科・産婦人科医の確保 ●妊婦健診と分娩に係る機能分担と連携の一層の推進 ●県立中央病院を核とした地域周産期医療連携の促進 ●重症心身障害児施設の病床の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●医学生への修学資金の貸与、女性医師の支援 ●周産期保健医療協議会の開催 ●周産期母子医療センター運営事業 ●周産期地域連携ネットワーク会議による連携体制の推進、医療・保健・福祉の連携強化 ●先天性代謝異常等検査事業の実施 ●重症心身障害児施設の病床の確保(国立病院機構富山病院) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎産科医数が減少していることから、学生が周産期医療に関わる機会を増やす取り組みが必要 ◎妊娠・出産にかかる切れ目ない関係機関等の支援と連携の一層の推進 ◎NICUを退院する重症心身障害児等の継続した療育・養育環境の確保 																																												
小児	<ul style="list-style-type: none"> ●小児科医の確保 ●女性医師の勤務環境の整備に対する支援 ●小児救急電話相談(#8000)の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●医学生への修学資金の貸与 ●女性医師の勤務環境の整備促進、定着支援 ●小児救急医療ガイドブックの配布 	◎小児科医師数の推移 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>富山県</th> <th>新川</th> <th>富山</th> <th>高岡</th> <th>砺波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>148</td> <td>9</td> <td>90</td> <td>38</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>147</td> <td>9</td> <td>89</td> <td>39</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>150</td> <td>9</td> <td>92</td> <td>40</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>158</td> <td>8</td> <td>99</td> <td>42</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>152</td> <td>7</td> <td>96</td> <td>39</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		富山県	新川	富山	高岡	砺波	H16	148	9	90	38	11	H18	147	9	89	39	10	H20	150	9	92	40	9	H22	158	8	99	42	9	H24	152	7	96	39	10								
	富山県	新川	富山	高岡	砺波																																										
H16	148	9	90	38	11																																										
H18	147	9	89	39	10																																										
H20	150	9	92	40	9																																										
H22	158	8	99	42	9																																										
H24	152	7	96	39	10																																										
在宅	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅への移行が円滑に行われるための医療と介護の関係者の連携を促進 ●医療・介護に関わる多職種の連携を支援 ●在宅主治医の連携・グループ化を支える在宅医療支援センターの運営を支援 ●訪問看護ステーションの規模拡大や機能強化、安定した経営基盤の確保を支援 ●訪問歯科診療や訪問薬剤指導の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●入退院に伴う病院と介護支援専門員との連携体制の構築 ●市町村における在宅医療・介護連携の推進 ●在宅主治医の連携・グループ化を支える在宅医療支援センターの運営を支援 ●機能強化型訪問看護ステーションを目指す事業主体への施設整備補助 ●在宅歯科医療支援センターへの支援 ●研修会の実施、歯科在宅医療機器の整備 ●薬局薬剤師に対する無菌調剤技術研修等研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ◎退院支援ルール策定 H26 富山医療圏、砺波医療圏 H27以降(予定) 新川医療圏、高岡医療圏 ◎グループ参加医師数、在宅医療支援センター数 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H24</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開業医グループ数</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>グループ参加医師数</td> <td>67</td> <td>188</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>支援センター数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> ◎訪問看護ステーション数 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24.4</th> <th>H25.4</th> <th>H26.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>39</td> <td>44</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>6,298</td> <td>6,801</td> <td>7,473</td> </tr> <tr> <td>人口</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>3.6</td> <td>4.1</td> <td>4.65</td> </tr> <tr> <td>10万</td> <td>4.9</td> <td>5.3</td> <td>5.87</td> </tr> </tbody> </table> ◎薬剤師、歯科医師との連携が進んでいるが、さらに在宅医療関係多職種との連携や在宅口腔ケアの普及が必要 		H21	H24	H26	開業医グループ数	9	15	15	グループ参加医師数	67	188	192	支援センター数	0	4	10		H24.4	H25.4	H26.4	実数				県	39	44	50	全国	6,298	6,801	7,473	人口				県	3.6	4.1	4.65	10万	4.9	5.3	5.87
	H21	H24	H26																																												
開業医グループ数	9	15	15																																												
グループ参加医師数	67	188	192																																												
支援センター数	0	4	10																																												
	H24.4	H25.4	H26.4																																												
実数																																															
県	39	44	50																																												
全国	6,298	6,801	7,473																																												
人口																																															
県	3.6	4.1	4.65																																												
10万	4.9	5.3	5.87																																												